

第 2 次 中 期 計 画

(令和4年度～令和8年度)



チエブクロー

全国シルバー人材センター事業協会 キャラクター

『会員一人1件受注運動』強化推進中

公益社団法人 田川地区シルバー人材センター

令和4年10月

【目次】

第2次中期計画策定にあたって

I 第2次中期計画の概要

1 計画策定の趣旨	P1
2 基本理念	//
3 計画の期間	//

II 現状と課題

1 会員数	P2
2 契約件数、契約額	P4
3 就業率	P5
4 安全就業	P6

III 第2次中期計画の具体的目標

1 会員数	P7
2 契約件数、契約金額	//
3 就業率	P8

IV 計画達成のための重点施策	P9
-----------------	-------	----

第2次中期計画策定にあたって

我が国の65歳以上の高齢者人口は、3,600万人を超え、総人口に占める割合も約30パーセントとなり、さらに2060年には40パーセント近い水準になることが推計されています。

少子高齢化の進展に伴い、将来に必要な労働力人口が減少することが懸念される中で、働く意欲のある高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かし、年齢に関わりなく地域社会の支え手とし、活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの役割は、ますます重要になっています。

しかしながら、令和2年に始まった新型コロナウイルス感染拡大は、緊急事態宣言が数回にわたり発出されるという未曾有の事態に見舞われ、会員数、契約金額が減少傾向となり、厳しい状況にあります。

当センターでは、平成29年度から令和3年度の「第1次中期計画」5箇年計画を策定し、事業を推進して参りました。

今後、さらにシルバー事業の運営に関し、将来を見据えた指針となる「第2次中期計画」の策定を行い、会員数・就業機会の拡大に向け、効率的な事業運営に取り組んで参ります。

令和4年10月

公益社団法人
田川地区シルバー人材センター
理事長 水 上 茂

I 第2次中期計画の概要

1 計画策定の趣旨

公益社団法人田川地区シルバー人材センター（以下、「当センター」という）は、平成29年度(2017年)から令和3年度(2021年)までの中期計画を策定し、また、中間年の令和元年には、これを見直した改訂版に基づき事業を推進してきました。

策定した第1次中期計画（改訂版）の終了に伴う検証の結果、第2次中期計画を策定することといたしました。

中期計画（改訂版）の検証内容は、策定時の想定を超えた社会情勢等の変化により、就業率こそ目標値をほぼ達成したものの、会員数、受注件数、契約金額とも目標値との大幅な乖離が生じる結果となりました。

第2次中期計画の策定に当たっては、少子高齢社会の急速な進展、今後の社会経済情勢の変化をできるだけ的確に捉え、当センターが目指すべき基本的な方針を定め、具体的に取り組むべき施策を掲げました。

2 基本理念

当センターは、高齢者が知識、経験、能力を活かして働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献することを目指し、会員自らが自主的・主体的に組織運営に参画し、そして、お互いが助け合い協力し合いながら活動する「自主・自立、共働・共助」のもと事業を展開します。

3 計画の期間

第2次中期計画の期間は、令和4年度(2022年)から令和8年度(2026年)までの5年間とします。また、目標値と大幅な乖離等が生じた場合は、必要に応じて見直しを行うこととします。

Ⅱ 現状と課題

1 会員数

令和3年度の会員数は、482名、田川地区の60歳以上の人口を加味した粗入会率は、0.9%です。高齢法等の法改正、高齢者の働く環境や制度の変化がある中で、高齢者の就業ニーズ等に応えるため、働く意欲のある高齢者に対して、パンフレット等を活用し、センター事業についての周知・啓発活動を行い、入会説明会を積極的にPRすることで会員の確保に努めるとともに、会員相互の親睦を深めるため、趣味の教室の開催等、会員の生きがいづくりに資する取り組みが必要となっています。

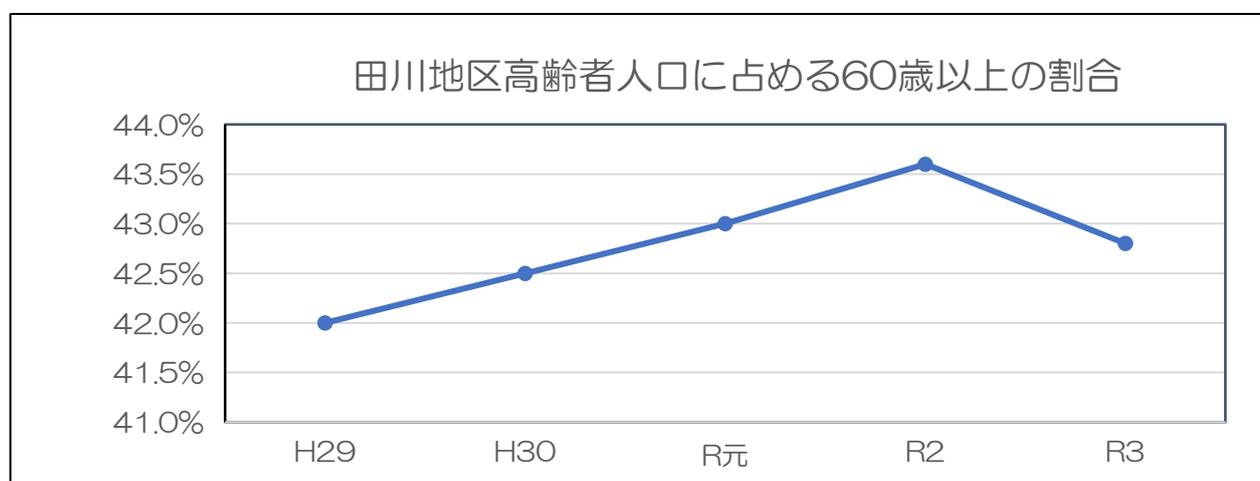
田川地区における60歳以上の人口をみますと、総人口119,636人に対し51,167人となっており、その割合は42.8%です。

平均年齢も75.8歳（令和3年度末）と高齢化している状況にあり、退会する会員が増加しています。また、女性会員の入会も依然伸び悩んでいることから会員獲得に向けた事業展開が急務となっています。

田川地区の高齢者人口の推移

年度	総人口（人）	60歳以上（人）	60歳以上の割合（%）
H29	127,262	53,460	42.0
H30	125,654	53,435	42.5
R元	123,651	53,222	43.0
R2	121,821	53,149	43.6
R3	119,636	51,167	42.8

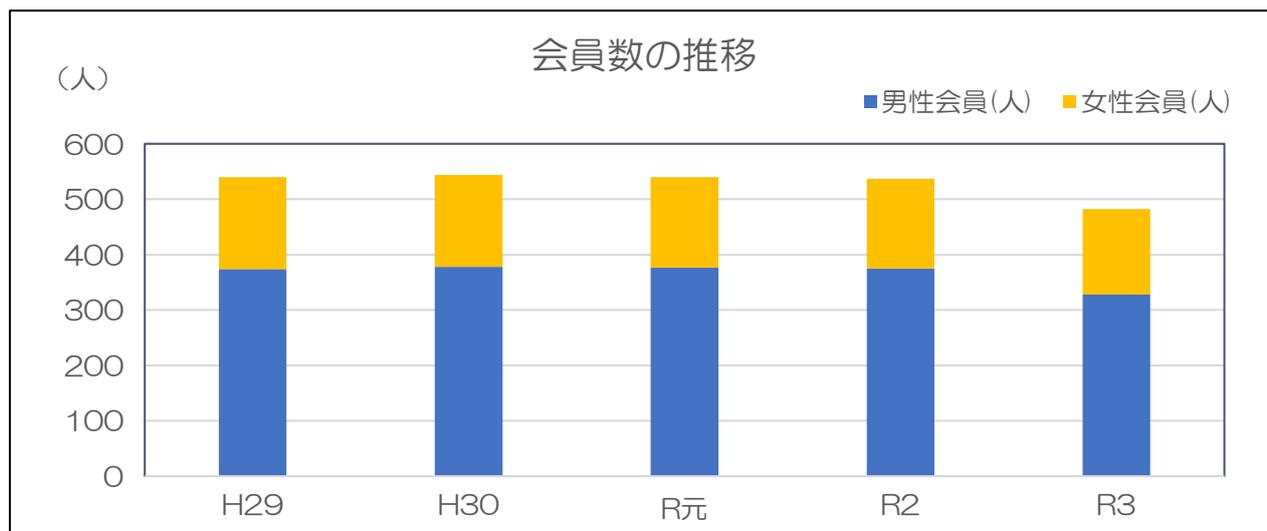
※令和4年4月1日時点（住民基本台帳等に基づく県調べ）。



会員数の推移

年度	男性会員(人)	割合(%)	女性会員(人)	割合(%)	会員数(人)
H29	374	69.3	166	30.7	540
H30	378	69.5	166	30.5	544
R元	377	69.8	163	30.2	540
R2	375	69.8	162	30.2	537
R3	328	68.0	154	32.0	482

※数値は、いずれも年度末時点。



会員男女別加入率の推移

年度	60歳以上(人)		会員数(人)		加入率(%)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H29	22,426	31,034	374	166	1.7	0.5
H30	22,492	30,943	378	166	1.7	0.5
R元	22,802	30,420	377	163	1.7	0.5
R2	22,648	30,501	375	162	1.7	0.5
R3	21,474	29,693	328	154	1.5	0.5

※数値は、いずれも年度末時点。

会員数と加入率の推移

年度	60歳以上(人)	会員数(人)	加入率(%)
H29	53,460	540	1.0
H30	53,435	544	1.0
R元	53,222	540	1.0
R2	53,149	537	1.0
R3	51,167	482	0.9

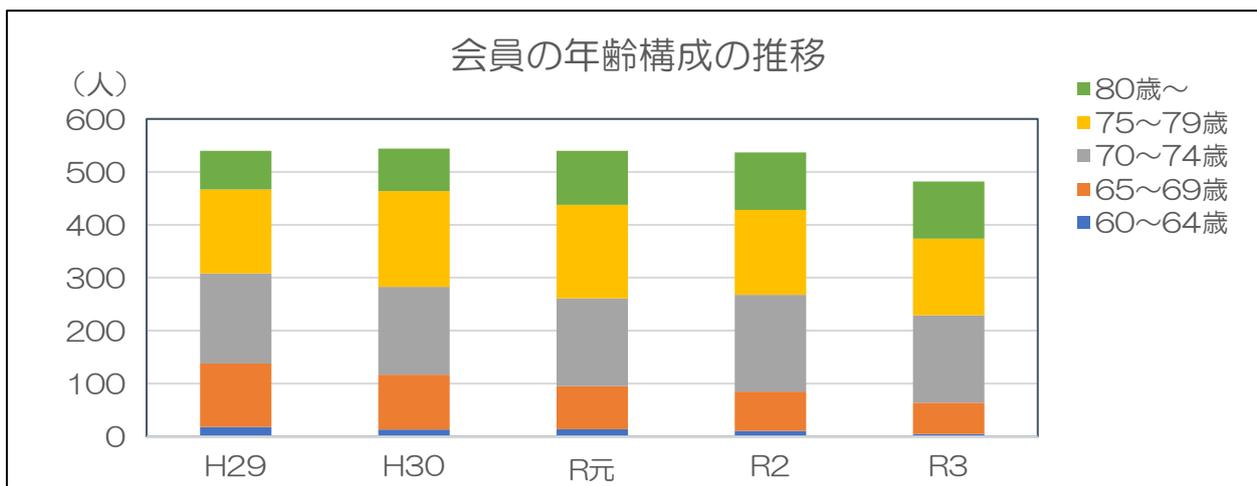
※数値は、いずれも年度末時点。

会員の年齢構成の推移

(単位：人)

年度	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳～	合計
H29	18	120	170	159	73	540
H30	13	104	166	181	80	544
R元	14	81	166	177	102	540
R2	11	74	183	160	109	537
R3	5	59	165	145	108	482

※数値は、いずれも年度末時点。



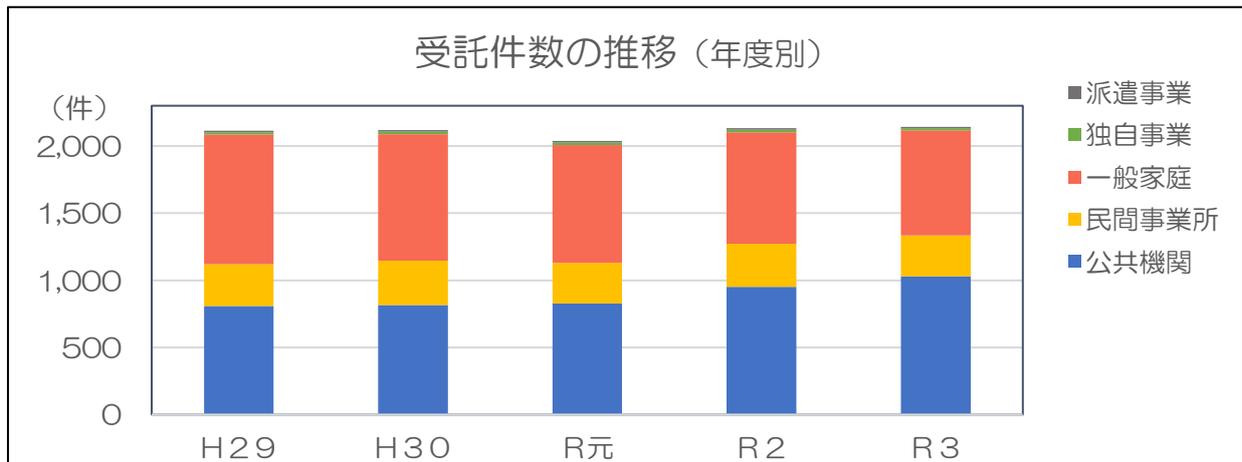
2 受注件数、契約額

令和2年初頭から新型コロナウイルス感染拡大が始まり、社会経済活動が大きく制限される中で、受注件数については、ほぼ横ばいとなっています。また、契約額の公共部門では、施設感染症対策消毒業務によって契約額が伸びていますが、民間部門では、一般家庭等の受注において、一部職種での会員の高齢化や就業希望会員の減少により、やむを得ずお断りすることもあり、契約額も減少しています。いかにして契約額を維持していくのかが課題となっていますが、今後、公共・民間を問わず新規就業の開拓・拡大に取り組み、着実に実績を伸ばす方策が必要となっています。

受託件数の推移（年度別）

(単位：件)

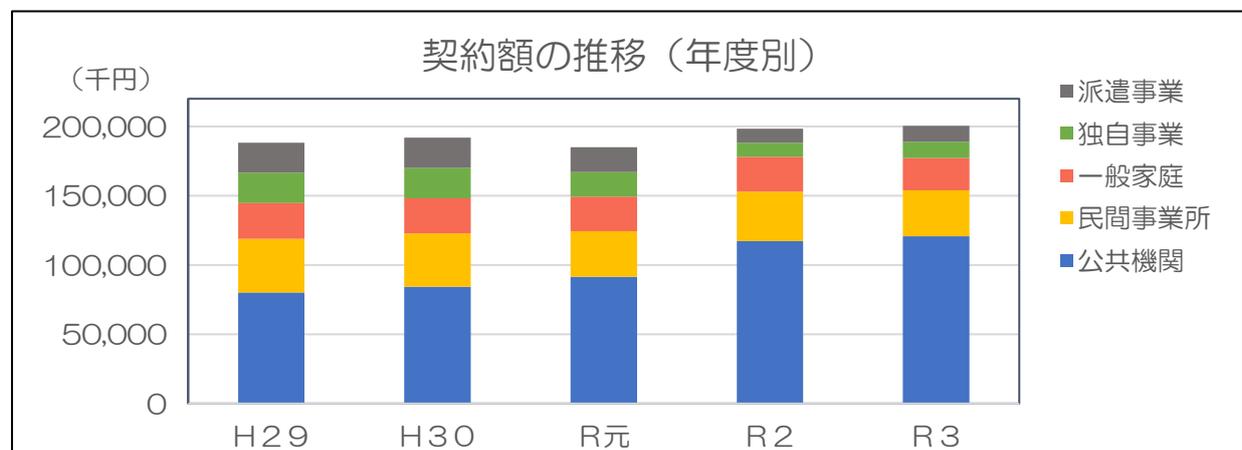
区分	H29	H30	R元	R2	R3
公共機関	810	817	828	952	1,030
民間事業所	311	330	301	320	304
一般家庭	964	941	879	831	782
独自事業	18	18	18	18	16
派遣事業	12	12	13	11	10
合計	2,115	2,118	2,039	2,132	2,142



契約額の推移（年度別）

（単位：千円）

区分	H29	H30	R元	R2	R3
公共機関	80,154	84,333	91,419	117,223	120,689
民間事業所	38,737	38,467	33,078	35,694	33,131
一般家庭	25,932	25,379	24,764	25,156	23,365
独自事業	4,710	4,004	3,617	2,416	2,383
派遣事業	21,766	21,911	17,833	10,151	11,654
合計	171,299	174,094	170,711	190,640	191,222



3 就業率

就業率については、年度により波はあるものの平均して94%を推移しており、県内では高い数値を維持しています。

会員の高齢化、会員数や契約額の減少が続く中、ミスマッチによる未就業を減らすため、就業機会の確保が課題となっています。

就業率の推移

年度	会員数（人）	就業実人員（人）	就業率（％）
H29	540	526	97.4
H30	544	523	96.1
R元	540	481	89.1
R2	537	489	91.1
R3	482	464	96.2

※数値は、いずれも年度末時点。

4 安全就業

「安全はすべてに優先する」との認識の下、傷害事故や健康被害の防止、及び物損事故の未然防止については、継続的な講習会への参加や繁忙期の安全パトロールによる声かけ等を実施しています。

引き続き、「事故ゼロ」を目標に掲げ、安全・適正就業対策委員会を中心に作業現場のパトロール強化やチラシ等による安全対策の周知、安全防具着用の徹底を行い、安全に関する各種講習会を開催します。

傷害保険適用案件

年度	件数	作業内容（件数）
H29	0	植木剪定(0) 草刈・除草(0) 就業途上(0) その他(0)
H30	1	植木剪定(0) 草刈・除草(1) 就業途上(0) その他(0)
R元	0	植木剪定(0) 草刈・除草(0) 就業途上(0) その他(0)
R2	0	植木剪定(0) 草刈・除草(0) 就業途上(0) その他(0)
R3	0	植木剪定(0) 草刈・除草(0) 就業途上(0) その他(0)

賠償保険適用案件

年度	件数	作業内容（件数）
H29	0	植木剪定(0) 草刈・除草(0) その他(0)
H30	0	植木剪定(0) 草刈・除草(0) その他(0)
R元	2	植木剪定(0) 草刈・除草(2) その他(0)
R2	2	植木剪定(0) 草刈・除草(2) その他(0)
R3	0	植木剪定(0) 草刈・除草(0) その他(0)

Ⅲ 第二次中期計画の具体的目標

1 会員数

現在、会員拡大については、退会抑制措置として、エルダー会員制度、入会措置として勧誘した会員へのポイント付与等を行い、また、会員募集を掲載した啓発用品の配布等を実施し、会員拡大に取り組んでいますが、会員数の増加には至っていません。そこで、新たな方策として、現存会員の配偶者に目を向け、夫婦会員に成れば会費が半額になる等を検討する必要があります。

第2次中期計画では、大きく減少した令和3年度から令和2年度の実績に戻すことを目標に、全シ協の「第2次100万人達成計画」に示される目標数を用いた人数を参考にし、その数値を基本に令和4年度から各年度約2%増を見込む計画としました。

会員数

(単位：人)

年 度	男 性		女 性		計	
	目標数値	実績	目標数値	実績	目標数値	実績
令和元年度	378	377	166	163	544	540
令和2年度	389	375	176	162	565	537
令和3年度	400	328	187	154	587	482
令和4年度	358		167		525	
令和5年度	365		170		535	
令和6年度	372		173		545	
令和7年度	378		177		555	
令和8年度	385		180		565	

2 受注件数、契約額

行政や企業等への営業活動を継続して行い、地域に密着した家庭内の細かな仕事や派遣事業の契約件数を拡大するとともに、高齢者の培ってきた知識や経験を活かすため様々な職種を開拓し、契約件数の増加を目指します。また、会員の現場対応能力の向上等、派遣事業の分野でも対応できる体制作りを強化します。

令和4年度受注件数の目標数値については、各年度30件の増を目標とし、契約額については、各年度300万円の増を見込む計画としました。

受注件数

(単位：件)

年 度	目標数値	実 績
令和元年度	2,360	2,039
令和2年度	2,480	2,132
令和3年度	2,600	2,142
令和4年度	2,150	
令和5年度	2,180	
令和6年度	2,210	
令和7年度	2,240	
令和8年度	2,270	

※ サポート事業（シルバー派遣）含む

契約額

(単位：千円)

年 度	目標数値	実 績
令和元年度	183,000	170,711
令和2年度	192,000	190,640
令和3年度	202,000	191,222
令和4年度	189,000	
令和5年度	192,000	
令和6年度	195,000	
令和7年度	198,000	
令和8年度	201,000	

※ サポート事業（シルバー派遣）含む

3 就業率

多様な受注の開拓やニーズに合った就業を高年齢会員及び女性会員に提供を行うことで、過去5年間の平均値より1%増の95%を目標値とします。

就業機会の均衡化や魅力ある広い分野での就業機会の確保、健康管理を含め、多くの会員の就業環境を整える事と同時に、ローテーション就業やワークシェアリングを推進し、就業率の維持に努めます。

就業率

年 度	会員数（人）	就業実人員（人）	就業率（％）
令和元年度	540	481	89.1
令和2年度	537	489	91.1
令和3年度	482	464	96.3
令和4年度	525	499	95.0
令和5年度	535	508	95.0
令和6年度	545	518	95.0
令和7年度	555	527	95.0
令和8年度	565	537	95.0

IV 計画達成のための重点施策

国は、少子高齢化に対応し日本経済の好循環を形成するため、働き方改革と一体となって取り組んでいます。こうした政策が定年延長と相まって、会員の獲得等に影響を及ぼしています。

当センターにおいて、高齢化社会の進展は、就業開拓・就業機会拡大に大きく期待されることも考慮し、社会活動や福祉の向上に努めながら地域の発展に役立つ組織となるため、今後も計画達成のための重点施策として以下の項目を掲げます。

1 派遣事業の拡大

就業機会拡大につなげるため、これまでの請負や委任による働き方だけでは対応できなかった「指揮命令を受ける作業」や「事業所等の社員との混在作業」など多様な働き方が可能となる派遣事業を推進します。

特に、国が具体的な事例として示している、人手不足分野や現役世代を支える分野について、派遣事業の拡大に努めます。

2 女性会員の確保

現在、当センターにおける女性会員比率は約3割ですが、高齢者に占める女性割合等を考慮すれば、今まで以上に女性の方々に入会していただき、様々な分野で活躍していただくことが望ましいと考えられます。そのためには、子育て支援事業・家事援助サービス等女性が活躍できる新たな職種の開拓や、女性会員が好む就業先の確保が必要となるため、各種イベントでのチラシの配布やボランティア活動等に参加し、地域の情報収集・意見交換をして女性会員の加入を促進します。

3 退会者の抑制策

未就業会員に軽作業等を優先的に提供し、エルダー会員へ移行することによる会費の減免、さらには、同好会活動等、会員の親睦を深めるため、趣味をいかし気軽に参加できるような機会を設けることにより退会者の抑制を図ります。

4 PRの強化

① ポスティング

シルバー人材センターの存在意義を地域の方に周知していただくため、会員による近隣地域へのチラシ配布や、口コミ活動等を促進するとともに、役職員による行政機関、事業所への案内資料の投函などを継続的に行うことで、センターの知名度アップに取り組みます。

② ダイレクトメール

高齢化が進み家事援助サービス等の受注増加が見込まれることから、地域に密着した新たな就業場所を確保するため、企業訪問、ダイレクトメールの送付を積極的に実施します。また、会員募集等を掲載した年賀状を田川地区内に送付し、会員の拡充や資質の向上に努めます。

③ ホームページの刷新

より多くの人に、当センターの存在や情報を知っていただくため、掲載内容や更新頻度を改善し、新規入会者や就業機会の確保に努めます。

5 ハローワーク田川との連携

求職者に対し、常用雇用とは違った、シルバー人材センターの意義を示すことで、高齢者の就業に対する選択肢の一つとして周知できるように連携を強化します。

6 センターの財政基盤強化

公益社団法人として、定款に定める事業を計画的に推進するため、新たな収入の確保等財政基盤の強化を図るとともに、収支バランスを考慮した効率的な財政運営を行っていきます。また、令和5年10月から消費税に係るインボイス制度（適格請求書等保存方式）の導入が予定されており、その適用のあり方によりセンターの財政収支は多大な影響を受けることが懸念されるため、その対応を検討します。

第2次中期計画策定委員会委員名簿

区分	委員名	備考
委員長	長副邦弘	糸田町会員理事
副委員長	安永昭俊	センター会員代表監事
委員	宮崎ミスエ	田川市正会員
委員	淵上卯	香春町正会員
委員	荒木憲行	川崎町正会員
委員	市丸洋子	福智町正会員
委員	岩下克洋	常務理事兼事務局長

区分	氏名	備考
事務局	丸山和	事務局庶務係長
事務局	浦田智広	事務局業務主査

発行日 令和4年10月

発行者 公益社団法人田川地区シルバー人材センター

〒826-0042 田川市大字川宮1474番地の1

TEL0947-44-8925 FAX0947-42-8022